

2023年度文学部プロジェクト研究“ことば”がつなぐ人文学


講演会
言語調査の制約と壁
～フィールドと文献と成果物と～

人文学の研究資料の多くは言語で書かれ、自身の研究成果の公表も言語で行い、様々な重要概念も言語として通用しています。文学部プロジェクト研究「“ことば”がつなぐ人文学」では、人文学のさまざまな分野の研究者たちが、研究活動を展開するうえで、“ことば”をめぐる壁や制約、可能性にどのように向き合っているかについて情報の共有や意見交換を行い、人文学と“ことば”の関係の諸相と今後の展開について議論しています。

このプロジェクトを締めくくるイベントとして、ネパール語やメチェ語というネパールの少数民族の言語をはじめとする様々なフィールドでの言語学研究を精力的に推進してこられた桐生和幸 教授を講師としてお招きして講演会を開催することになりました。ご関心のある方はぜひご参加ください（専門的な話に片寄らないようにお願いしました）。高校生の皆さんの参加も歓迎します。

日時：2024年3月28日（木）10:00-12:00
会場：岡山大学津島キャンパス文法館1号館2階 文学部会議室
講師：桐生和幸 美作大学教授（4月より学長）
事前登録不要・入場無料

お問い合わせ先：2023年度文学部プロジェクト研究“ことば”がつなぐ人文学
講演会実行委員長 栗林裕 (kuri@okayama-u.ac.jp)



2023年度文学部プロジェクト研究“ことば”

講演会

言語調査の制約 ～フィールドと文献と

人文学の研究資料の多くは言語で書かれ、自身で行い、様々な重要概念も言語として通用してプロジェクト研究「“ことば”がつなぐ人文学」では、人文学研究者たちが、研究活動を展開するうえで、“ことば”の制約、可能性にどのように向き合っているかについて、フィールドと文献との対換を行い、人文学と“ことば”の関係の諸相と今

086-251-8463
